

放射線災害医療学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Orita M, Kimura Y, Taira Y, Fukuda T, Takahashi J, Gutevych O, Chorny S, Kudo T, Yamashita S, Takamura N: Activities concentration of radiocesium in wild mushroom collected in Ukraine 30 years after the Chernobyl power plant accident. Peer J 6: e4222, 2018 (IF: 2.118)
2. Yamashita S, Suzuki S, Suzuki S, Shimura H, Saenko V: Lessons from Fukushima: Latest Findings of Thyroid Cancer after the Fukushima Nuclear Power Plant Accident. Thyroid 28(1): 11-22, 2018 (IF: 7.557)
3. Todorović L, Stanojević B, Mandušić V, Petrović N, Živaljević V, Paunović I, Diklić A, Saenko V, Yamashita S: Expression of VHL tumor suppressor mRNA and miR-92a in papillary thyroid carcinoma and their correlation with clinical and pathological parameters. Med Oncol 35(2): 17, 2018 (IF: 2.920)
4. Midorikawa S, Ohtsuru A, Murakami M, Takahashi H, Suzuki S, Matsuzuka T, Shimura H, Ohira T, Suzuki SI, Yasumura S, Yamashita S, Ohto H, Tanigawa K, Kamiya K: Comparative Analysis of the Growth Pattern of Thyroid Cancer in Young Patients Screened by Ultrasonography in Japan After a Nuclear Accident: The Fukushima Health Management Survey. JAMA Otolaryngol Head Neck Surg 144(1): 57-63, 2018 (IF: 3.295)
5. Shimura H, Sobue T, Takahashi H, Yasumura S, Ohira T, Ohtsuru A, Midorikawa S, Suzuki S, Fukushima T, Suzuki S, Yamashita S, Ohto H: Thyroid Examination Unit of the Radiation Medical Center for the Fukushima Health Management Survey Group: Findings of thyroid ultrasound examination within three years after the Fukushima Nuclear Power Plant accident: The Fukushima Health Management Survey. J Clin Endocrinol Metab 103(3): 861-869, 2018 (IF: 5.789)
6. Otsubo R, Mussazhanova Z, Akazawa Y, Sato A, Matsuda K, Matsumoto M, Yano H, Matsuse M, Mitsutake N, Ando T, Niino D, Nagayasu T, Nakashima M: Sporadic pediatric papillary thyroid carcinoma harboring the ETV6/NTRK3 fusion oncogene in a 7-year-old Japanese girl: a case report and review of literature. J Pediatr Endocrinol Metab 31(4): 461-467, 2018 (IF: 1.086)
7. Otsuka K, Suzuki K, Fujimichi Y, Tomita M, Iwasaki T: Cellular responses and gene expression profiles of colonic Lgr5+ stem cells after low-dose/low-dose-rate radiation exposure. J Radiat Res 59 (suppl_2): ii18-ii22, 2018 (IF: 2.031)
8. Okuyama K, Suzuki K, Yanamoto S, Naruse T, Tsuchihashi H, Yamashita S, Umeda M: Anaplastic transition within the cancer microenvironment in early-stage oral tongue squamous cell carcinoma is associated with local recurrence. Int J Oncol 53(4): 1713-1720, 2018 (IF: 3.333)
9. Matsuda K, Kawasaki T, Akazawa Y, Hasegawa Y, Kondo H, Suzuki K, Iseki M, Nakashima M: Expression pattern of p53-binding protein 1 as a new molecular indicator of genomic instability in bladder urothelial carcinoma. Sci Rep 8(1): 15477, 2018 (IF: 4.122)

B 邦文

B-c

1. 鈴木啓司, 山下俊一: 3. 放射線の安全基準と医学リスク. (「原子力年鑑」編集委員会編, 原子力年鑑 2019 Part III 福島を契機とした原子力発電をめぐる動向, 日刊工業新聞社, 東京, pp122-130) 2018
2. 光武範吏: II. 甲状腺の臨床《総論》, 4. 甲状腺疾患の診断, ⑥遺伝子診断. 甲状腺専門医ガイドブック 改訂第2版 (編集 日本甲状腺学会) 診断と治療社, pp107-111, 2018

B-e

1. 山下俊一: 監事 (自己紹介と抱負). 日本甲状腺学会ニュースレター 第43号: 20, 2018
2. 光武範吏: コスミック研究創成賞・最優秀. 日本甲状腺学会ニュースレター 第43号: 36, 2018

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	1	0	2	4	1

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
山下俊一・教授	副学長・理事長付特命教授	福島県立医科大学

山下俊一・教授	監事	日本内分泌学会
山下俊一・教授	監事	日本甲状腺学会
山下俊一・教授	学会誌「THYROID」編集委員	アメリカ甲状腺学会
山下俊一・教授	学会誌「EUROPEAN THYROID JOURNAL」編集委員	ヨーロッパ甲状腺学会
山下俊一・教授	学術顧問	臨床雑誌「内科」(南江堂)
山下俊一・教授	放射線医学県民健康管理センター副センター長	福島県立医科大学
山下俊一・教授	福島県放射線健康リスク管理アドバイザー	福島県
山下俊一・教授	放射線誘発甲状腺疾患と放射線障害における外科治療研究に関する WHO 協力センター・センター長	世界保健機関
山下俊一・教授	評議員	笹川記念保健協力財団
山下俊一・教授	理事	BHN テレコム支援協議会
山下俊一・教授	ヨウ素関連調査研究委員会委員	成長科学協会
山下俊一・教授	理事	長崎・ヒバクシャ医療国際協力会
山下俊一・教授	運営副部長	長崎・ヒバクシャ医療国際協力会
山下俊一・教授	世界アルバート・シュヴァイツァー日本事務局長	アルバート・シュヴァイツァー世界医学アカデミー
山下俊一・教授	内閣官房政策調査員	内閣府
山下俊一・教授	標的アイソトープ治療研究に関する検討会委員	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
山下俊一・教授	連携会員	日本学会議
山下俊一・教授	編集委員	ロシア放射線疫学雑誌「RADIATION & RISK」
山下俊一・教授	WHO-IHR 外部専門委員	世界保健機関
山下俊一・教授	科学諮問委員	公益財団法人放射線影響研究所
山下俊一・教授	評議員	一般社団法人公正研究推進協会
山下俊一・教授	WHO Public Health Response Guideline 策定委員会メンバー	世界保健機関
山下俊一・教授	長崎県原子力災害医療ネットワーク検討会委員	公益財団法人原子力安全研究協会
鈴木啓司・准教授	評議員	日本放射線影響学会
鈴木啓司・准教授	編集委員	日本放射線影響学会
鈴木啓司・准教授	京都大学放射線生物研究センター共同利用委員会委員	京都大学
鈴木啓司・准教授	運営委員会部会委員	広島大学 原爆放射線医科学研究所
鈴木啓司・准教授	編集委員	Genome Integrity
鈴木啓司・准教授	世話人	放射線影響懇話会
鈴木啓司・准教授	編集委員	Radiation Research
鈴木啓司・准教授	評議員	日本癌学会
鈴木啓司・准教授	福島県「放射線と健康」アドバイザー	福島県「放射線と健康」アドバイザーグループ
光武範吏・准教授	編集委員	Journal of the Endocrine Society
光武範吏・准教授	編集委員	Thyroid Endocrinology, Frontiers in Endocrinology
光武範吏・准教授	国際編集委員	Arquivos Brasileiros de Endocrinologia e

		Metabologia
光武範吏・准教授	評議員	日本甲状腺学会
光武範吏・准教授	評議員	日本内分泌学会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
山下俊一・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究（A）海外 国際共同研究による甲状腺がん分子疫学調査研究
山下俊一・教授	厚生労働省	代表	地球規模保健課題解決推進のための行政施策に関する研究事業 「国際保健政策人材増強のための国内環境整備施策に関する研究」
鈴木啓司・准教授	環境省	代表	原子力災害影響調査等事業『放射線の健康影響に係る研究調査事業』 成体期の生活習慣等の低線量放射線発がんリスクに及ぼす影響とメカニズム解明
鈴木啓司・准教授	環境省	代表	原子力災害影響調査等事業『放射線の健康影響に係る研究調査事業』 若手研究者を活用した研究の加速化事業
鈴木啓司・准教授	AMED	分担	創薬支援ネットワーク がん放射線治療の線量大幅低減と予後改善に向けた分子標的増感剤の探索
鈴木啓司・准教授	文部科学省	分担	戦略的原子力共同研究プログラム 幹細胞のキネティクスから発がんの線量率効果を紐解く
光武範吏・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究（B）海外 チェルノブイリ周辺国における非放射線誘発小児・若年者甲状腺がんの分子疫学調査研究
光武範吏・准教授	日本学術振興会	代表	挑戦的研究（萌芽） 乳癌細胞を用いたバイオアッセイによるDNA相同組み換え能と遺伝子変異のカタログ化
光武範吏・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究（A） DNA修復・損傷応答機構の異常により発症するゲノム不安定性疾患の分子病態解明研究
光武範吏・准教授	日本医療研究開発機構	分担	ゲノム不安定性疾患群を中心とした希少難治性疾患の次世代マルチオミクス診断拠点構築
光武範吏・准教授	日本医療研究開発機構	分担	人工核酸・短鎖ペプチドを用いたゲノム不安定性疾患の新規治療薬開発
松瀬美智子・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究（C） TERTは甲状腺癌の予後推測・治療方針決定のマーカーとなりうるか？
光武範吏・准教授	コスミックコーポレーション・東洋鋼鈹		甲状腺がん関連遺伝子変異検出用キットの評価

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
鈴木啓司・准教授	非常勤講師（放射線医学）	九州大学
鈴木啓司・准教授	非常勤講師（放射線生物学）	京都大学

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
山下俊一・教授	「被爆地の医師として」長大・山下教授	長崎放送 NBC Nスタ	2018年 2月15日	被爆地の医師として、放射線にどう向き合うかを追求してきた27年の教授人生を振り返る。
山下俊一・教授	福島県立医科大副学 長へ就任	NHK イブニン グ長崎	2018年 3月20日	福島県立医科大学の常勤副学長（国際担当）に就任し、原発事故の調査や研究、被ばく医療の人材育成を国際機関などと連携して行う。

○特筆すべき事項

- ① 山下俊一・教授：国立メチニコフ北西医科大学より名誉博士号授与